

原発再稼働反対、農業守れ、中山間地にもっと政治の光を 今年も全力でがんばります

12月に雪がどんと降ったので正月はどうなるかと心配しました。大雪にならないでほしいですね。暮れの総選挙で、比例での得票率が33%ほどなのに自民党は多数の議席を獲得しました。これは小選挙区制という選挙制度のおかげです。少ない得票でも多数の議席を占めることができるこの選挙制度は是正すべきです。

国民の大多数は消費税増税や原発再稼働に反対し、集団的自衛権の行使などには慎重です。農業をつぶし、農業組織を解体する政策に多くの農家が反対しています。

しかし第3次安倍内閣は国民世論そっちのけで暴走を続けています。新年の遅くない時期に九州電力川内原発や関西電力の高浜原発の再稼働をねらっていますし、消費税の増税は再来年の4月には景気の動向に関係なく実施しようとしています。

新しい年、私は新たな挑戦をします。これまでの経験を生かし、市政や県政の場でみなさんの命と暮らしを守るために、「提案」と「共同」を重視して全力で頑張ります。よろしくお願いたします。



▲1月の党大会で発言。12月の総選挙で日本共産党大躍進。
▼ドキュメンタリー映画、「夢は牛のお医者さん」に大感動。



▲関山での日米合同演習反対集会。長野県からも大勢の参加者が来る。油流失事故発生。



▲ガス水道局の談合疑惑解明のための100条調査委員会設置求める請願、なんと不採択。



▲原発事故後、初めて福島を視察。原発から14キロの希望牧場を訪問してたたかいの決意新たに。



▲5冊目の随想集、「背中かき」を出版。出版祝う会も開催。好評発売中

はしづめ法一 2014年10大ニュース

2014年を私のブログ掲載写真で振り返ってみました。



▲まさか、まさか。私をとりあげてくださった助産師さんがわが家へ。「春よ来い」を読んで来たくなったとか。



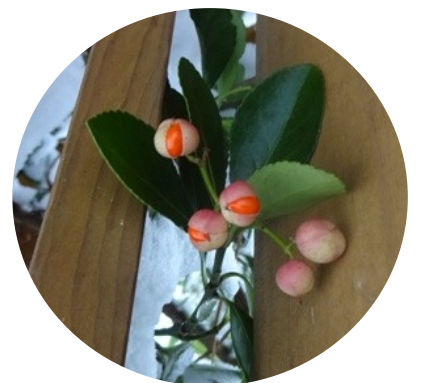
▼集団的自衛権行使容認の閣議決定。撤回を求める議会請願も不採択。何ということか。



▼長年、牛を飼ってきた牛舎解体。人生の大半は牛とともにありました。涙が流れました。



▼柏崎刈羽原発再稼働反対署名3万筆余りを持って東京電力本社へ。竹島県議らと本社前で。



【マサキ】ニシキギ科の常緑低木。漢字で「柎」または「正木」と書きます。花はあまり目立たないが、果実は熟して割れると中から橙赤色の種らしきものが出てきます。これがとても素敵です。写真は大島区岡で撮影

はしづめ法一の 活動レポート

No.1690 2015.1.4
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」は ← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三三八回

そば打ち体験

一度はやってみたいと思っていたそば打ちを先日、安塚区で体験させてもらいました。場所は石橋の広宣寺の一室、そば作り専用の厨房です。住職の和喜さんの指示に従い、そばを練る、のす、切るという一連のそば作りの流れをやらせていただきました。和喜さんがそばを打ち、販売をしているというのを知ったのは数年前です。安塚区にあるラーメン屋さんで食事をしていたときに、「食べてみてください」と渡されたのが、「天女の羽衣蕎麦」という名前のそばでした。たぶん、吉川区中谷内で自然薯を収穫中の和喜さんの姿を私が発行しているピラに載せたことへのお礼だったのでしょうか。そば打ちに来ませんかとお誘われたいのは十二月の上旬でしたが、実際に訪ねたのはお誘いを受けてから半月ほど経ってからです。ラーメン屋のお父さんから案内していただき、妻とともに、広宣寺を訪ねました。厨房に入っただけでびっくりしましたね。そばを製造販売しているとはいえず、そばを練る大きな鉢が四つも五つもあつたからです。鉢についての説明を受けた後、頭にバンダナ風のかぶりものをつけ、そば打ち用の服に着替えて、すぐにそば打ちの仕事に入りました。

まずはそば粉、小麦粉、自然薯をすったもの、水をよく混ぜて、こねる作業です。親指で固めるように練り込むんですよ、とアドバイスをもらいながら練っていたのですがなかなかうまくいきません。妻からは「あんたのは練っているのではなく、壊しているんじゃない」と言われる始末です。練るには相当の力がいられます。うんうんうなりながら続けました。最後は和喜さんから代わっていただきました。

素人にはできないと思つたのは水の加減です。和喜さんはほんの少しの水を加えることによって、人間の耳たぶのような弾力性のあるものにしていただきました。

練りの工程の最終段階。コロになったものを回しながら練り込んでいくと、キュツ、キュツという音が出ます。和喜さんは真面目な顔をして言いました。「ここを見てみてください。何かに見えるでしょ。ほら」。そう言われてみると、ペニスの頭そっくりの形ができています。いやありませんか。私からも何か言いたかったのですが、和喜さんはその時間を与えず、「これが上手にできないと駄目なんだよね。話を聞いた女の人もほん」とだねというだけで、実際のものを見てみるんだろね、きつと……と続けました。

玉になったそばをのす工程も簡単ではありませんでした。最初は手を使つてのし、そば玉を丸い板状にしていきます。「人間は年をとると角がとれて丸くなるけど、そばは年をとると角が出てくるんですよ。角出して言うんですね。できるだけきれいな円にする」と角出してもうまくいくんです。和喜さんにそう言われたものの、なかなかきれいな円にはなりませんでした。

そしてのし棒を使つての作業、五ミリほどの厚さになったそばを二ミリ以下の厚さにしていくのですが、途中で破れてしまうのではないかと、とても緊張しました。のし棒を引くときはスツツという音がします。スツスツスツ、トントントン。リズム感のある音がいいなと思つていたら、のし棒の音に香りを感じていました。おいしそうなそばの匂いです。うれしくなりました。

のしたそばはその場で切つて、パックに入れて家に持ち帰りました。家でゆでてもらい食べたとき、のし棒の音のときのままの香りが残っていて、じつに美味しかったです。和喜さんのお蔭で、自分で打つたからこそ味わえる喜びに浸ることができました。

日本共産党議員団が新年度予算編成で49項目の要望書提出

日本共産党議員団は12月26日、2015年度予算についての要望書を市長に提出しました。

今回の要望書では、前書きで、大企業と大資産家だけが儲かるしくみの「アベノミクス」の下で、国民は「収

入は増えないのに負担だけが增える」苦しみにさいなまれている。また、東日本大震災と福島第一原発の過酷事故による多くの避難者は、いまだに不自由な暮らしを強いられているとして、「地方自治の本旨」に基づき、住民自治の発展と住民の福祉と暮らしを守る防波堤

の役割を果たすよう求めています。そのうえで、重点・緊急要望として災害対策など7項目、市民の命と暮らしを守る基本要望として、雇用と中小業者を守る対策など7分野49項目を盛り込みました。

今回、重点・緊急要望として掲げたものは、①日本の農業と食料のみならず、医療や雇用などに重大な打撃をあたえ、地域経済を根幹から破壊しかねないTPPには、毅然として反対すること、②柏崎刈羽原子力発電



所の再稼働に反対し、廃炉にするよう関係機関に求めるとともに、国に対しても原発からの撤退を強く求めること、また、小水力発電、太陽光発電などの再生可能エネルギーの研究・開発、普及に全力を尽くすことなどです。

市長が都合つかないとのことで、野口副市長が応対しました。懇談の中では、私や上野議員が、住宅リフォーム促進事業の継続や米価下落対策、雪対策の強化を求め、平良木議員が並行在来線対策を中心に市民の暮らしを守るよう求めました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月24日(水)	12月31日(水)
上越南消防署	0.030	0.030
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.043	0.040
頸南消防署	0.047	0.050
東頸消防署	0.053	0.053
高士分遣所	0.037	0.040
名立分遣所	0.050	0.050